

地域大学振興に関する有識者会議 第2回意見交換 ～ 金融機関から見た地域大学振興

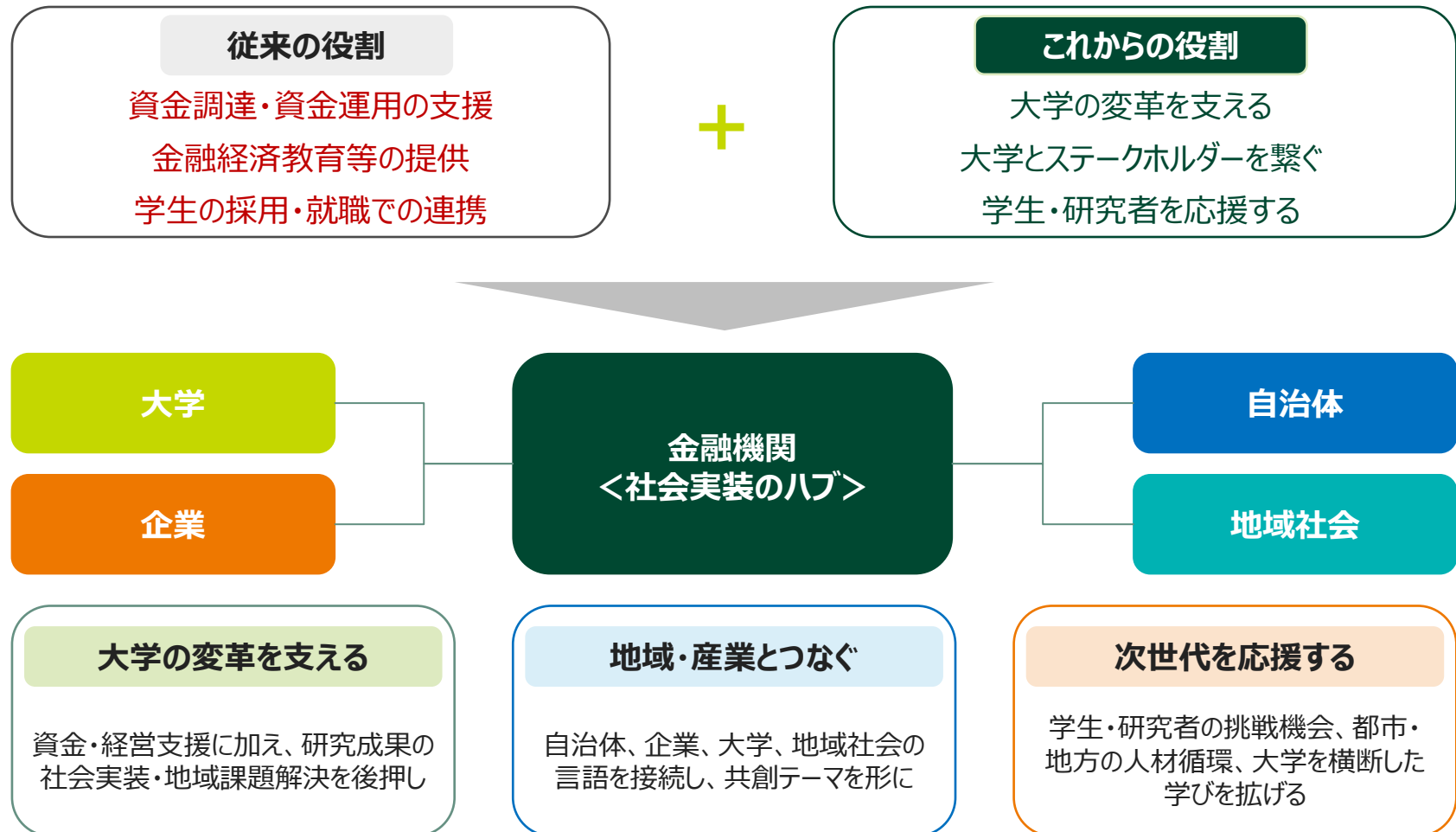
2026年8月5日
三井住友フィナンシャルグループ
社会的価値創造推進部長 松永 圭司



SUMITOMO MITSUI
FINANCIAL GROUP

1. 産学連携における金融機関のこれからの役割

- 地域大学は、人材・研究・地域課題解決の基盤
- 金融機関は、資金供給にとどまらず、産学官をつなぐ「社会実装のハブ」として地域大学振興を支える存在に



2. 大学との連携 | 東京大学を起点とした森林グリーントランスフォーメーション(GX)

- 2025年4月に東京大学と連携協定を締結し、GXに関する新たな取り組みを開始
- 東京大学に加え、北海道大学、秋田県立大学も参加するコンソーシアムを立ち上げ、森林GXにかかる先進的研究の推進及びその研究成果を還元し社会実装を目指す

連携協定の締結



社会的価値創造を通じた「日本の再成長」に向け、開かれた知の実現を目指す

1. 新たなGX戦略の策定と実践

2. フィランソロピー資金紹介スキームの構築
3. スタートアップ企業の発掘と育成、支援
4. 仕事・学業とスポーツの両立を実現する科学的アプローチ
5. 学生活動支援及び企業で活躍できる人材を育てるインターンシップ等の仕組みの検討

協定に基づくGX関連の取り組み

森林GXコンソーシアム

東京大学が有する先進的研究成果の還元と社会実装を目指す産官学の組織体

<活動内容>

- ① 森林GX領域における先進的研究の推進
- ② 会員(企業・団体)と共有・交流する会合の開催

<参加団体>

東京大学、北海道大学、秋田県立大学、SMBCグループ
官公庁、自治体、企業等

2. 大学との連携 | SMBC京大スタジオ（京都大学）の取組進捗

- ・ 社会課題起点の研究テーマを京都大学とSMBCグループの日本総研で学際的な共同研究を実施
- ・ 「研究初期段階からの事業化を見据えたバックキャストिंगアプローチ」に一定の成果が出てきた

研究テーマ	進捗
発達障害特性がある人材の就労における能力発揮支援  京都大学大学院医学研究科 准教授 義村 さや香 日本総研 創発戦略センター シニアデベロップメントマネジャー 木村 智行	・ 能力発揮のエビデンスを取得する実験を実施 ・ ニューロダイバーシティマネジメント研究会にて雇用策検討 ・ SMBC営業店での顧客企業向けセミナーを開催
貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発・普及  京都大学大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵 日本総研 創発戦略センター インキュベーションプロデューサー 山本 尚毅	・ 「『生きる』教育」の注目度が高まり、メディアで取上げ ・ 教材・教具公開、導入校への伴走支援を拡大 ・ SMBCでの金融経済教育への活用に着手
誰もが生前・死後の尊厳を保つための持続可能な身じまい・意思決定  京都大学大学院文学研究科 教授 児玉 聡 日本総研 創発戦略センター シニアスペシャリスト 沢村 香苗	・ 「タツトリ・ノトナレ」がメディアで記事化 ・ 身じまいの課題と提言を白書で公開 ・ 身じまい基本法制定に向けたアクション 
酵素を活用したどこでも誰でも使えるCO2資源化技術の開発  京都大学大学院農学研究科 助教 宋和 慶盛 日本総研 創発戦略センター インキュベーションプロデューサー 野田 賢二	・ CO2回収技術の基礎研究が進行 ・ CO2資源化のビジネスモデルを検討 ・ パイロット機製作にも着手
日本の診療現場に最適化された医療特化型言語AIモデルの実装  京都大学大学院情報学研究科 博士課程 岡田 直己 日本総研 創発戦略センター 副所長 齊木 大	・ 医療文書作成支援AIモデルの開発・検証 ・ 介護への情報連携のあり方を検討 ・ スタートアップと連携して研究開発

2. 大学との連携 | 筑波大学における大学経営の改革への取組

- 筑波大学の運営基盤の確立に向けた取組の横展開を目指し、多岐にわたる共創を実施

- ①財政基盤強化を含む大学経営の高度化
- ②新しい共同研究・事業化システムの開発
- ③教育・研究・ビジネスを多角的に動かす人材育成
- ④スポーツの活性化と関連領域の取組強化
- ⑤インクルーシブ教育の推進

大学と金融機関の連携を
先導するモデルとして、
全国への展開

大学スポーツのビジネス展開

- Tsukuba Live!交流戦の開催
筑波大学女子バスケットボール部 vs SMBC TOKYO SOLUA



DX化に向けたカルチャー変革

- 筑波大学学長とSMBCグループCDIOとのDX対談セミナーを開催



DEIからビジネスへの展開

- 附属大塚特別支援学校の生徒が作り販売するえがおカフェの製菓をSMBC本店で毎月販売。贈答用SMBC専用缶の制作にも着手



3. 大学スポーツ応援プログラム「シャカカチBOON BOON PROJECT」

- 大学の運動部・体育会に所属する学生の学業とスポーツの両立を支援し、競技力向上と挑戦の機会拡大、地域貢献に取り組むプログラムを実施

シャカカチ BOONBOON PROJECT ～「学業」と「スポーツ」の両立に挑戦する学生を支援

- ✓ 競技力向上・組織力強化への支援、社会貢献活動の促進

◆ 資金支援（1団体100万円×4年間）

◆ プロジェクトパートナーやパートナー企業との連携支援



大学運動部に
所属する
学生アスリート

応募
426団体

採択
45団体
(総部員数約2,600人)

学生アスリート支援を通じた社会で活躍する
人材の育成、地域社会への価値提供等



4. 大学研究者支援プログラム「シャカチRISE PROJECT」

- 日本の研究者の競争力強化、社会課題解決の加速につながるよう大学等の研究活動支援を実施
- 昨年度は13名を採択し、今期はさらなる強化を行い、実施を計画中

シャカチ RISE PROJECT
～独創的な研究等に挑戦する研究者を支援

社会実装・産業化を目指す研究
ブレイクスルーに繋がる基礎研究

応募
344人

採択
13人

支援対象

社会変革に繋がる大きな社会的インパクトを生み出し得る挑戦的な研究に取り組む研究者

支援施策

Step.1 : 研究環境の整備

＜金銭的支援＞ 500万円／年×4年間

Step.2 : 社会実装の促進

＜非金銭的支援＞ 研究者が構築した理論・技術の実証・事業化等抱える課題に応じたサポート

日本の研究者の競争力を強化し、
社会課題解決を加速

	氏名	所属機関	研究テーマ
1	楠本 周平	東京都立大学	異常な電子状態を持つ炭素によるガス状低分子活性化
2	板倉 友香里	北海道大学	狂犬病制御をめざす“食べるワクチン”の開発
3	染谷 大河	東京大学	次世代型LLMに向けたLLMと人間の言語知能の解明
4	鈴木 華子	立命館大学	ウェルビーイングの文化的翻訳に関わる多国間協働研究
5	永代 友理	東京大学	熟練外科医の知を継承するAIトラブルマネジメント学習・術中支援
6	小林 由佳	NIMS	次世代エレクトロニクス産業を創出する有機金属の開発
7	浅利 美鈴	地球研	環境問題解決に向けた地域発の社会変革モデルの理論と実証
8	野城 菜帆	東京大学	水中環境におけるロバストな光学モニタリング技術の実装と展開
9	大塚 隼人	信州大学	省エネルギー・低コストなオンサイト型酸素富化空気製造技術
10	二井 偉暢	九州大学	着床率改善に向けた胚培養液の開発
11	五十嵐 圭介	東北大学	植物細胞農業による植物細胞の食品原料化：イネ培養細胞
12	高塚 大知	奈良女子大学	「テラーメイド・バイオスティミュラント」による農業持続技術
13	石井 礼花	東京医科大学	Arts, Diversity & Dignity—脆弱性がひらく創造の地平

- ✓ アンバサダーの拡大
- ✓ 海外研究者へのアプローチ
- ✓ 非金銭的支援策の設計・パッケージ化

5. 高専生共創プログラム | 高専インカレチャレンジ

- SMBC日興証券は、全国の高専生が連携チームで、大企業の実課題に挑戦する取組を支援
- 国立高専機構と人材育成・イノベーションエコシステム構築に向けた連携協定」を締結

高専インカレチャレンジ ～高専生から 次世代イノベーター人材を育成・輩出

- 大企業のリアル課題に対して、高専生が異高専連携チームでアイデア提供する仕組み
- 大企業の事業の課題を考えることで一地域に留まらない広い視野を学ぶ
- 高専卒メンターによるサポートで高専のタテの繋がりも活かし企業との交流を深める

高専教職員との共著論文 (工学教育、2025 年 73 巻 5 号)

「企業の実課題解決活動を通じた異学校・異学年チームでの創成能力育成手法とその実践評価」

- 従来のコンテストやインターンシップと異なり、様々な学校の学生が協力し、専門を問わず年に複数回参加でき、多くの挑戦機会が得られる
- 主体性、チームワーク、エンジニアリングスキルなどが向上。企業側からも評価は高く、イノベーター育成に効果的なアプローチと分析

公立高専機構との連携

2024/1/26 : SMBC日興証券と国立高専機構は、「**国際的な視野を持ち変革を生み出す人材育成及びグローバルイノベーションエコシステム構築に関する連携協定**」締結



- 「学び・実践・交流」の場の整備・提供

各要素が密接に絡み合い、**国際的な視野**を持ち、**社会を変革する人材**を育成



高専生・高専

高専を中心として、変革を生み出す**人材が継続的に排出される社会循環**を構築

- 国内のみならず世界で活躍
- 高専生がより評価される社会の実現

- 国際的視野・起業家精神の獲得・醸成
- 社会に変革を創出

6. こどもの教育・体験・挑戦機会の提供 | アトリエ・バンライ

- こどもの教育・体験機会や子供の居場所・体験の場の提供を、パートナー企業・団体とともに実施
- 2025年4月に開設した板橋の施設に加え、2027年4月には豊中で新規開設を予定

アトリエ・バンライ

～地域のこどもたちの放課後の居場所づくり

- 46年間出張所として活用されていた店舗を改装し、地域のこどもたちの放課後の居場所として運営開始
- 各種メディアで取り上げられるとともに、地域の保護者、自治体、省庁、企業パートナー等から高い評価。延べ5000名超が活用



アトリエ・バンライ
ITABASHI

約40社の企業・団体との連携し
体験プログラムを提供

こども食堂
の運営

約4,000冊
の蔵書



- 第19回キッズデザイン賞
- 令和7年度こどもスマイルムーブメント大賞
- 第20回日本ファシリティマネジメント大賞



体験プログラム・企業連携実績（26年6月時点）

延べ参加人数

1,538名

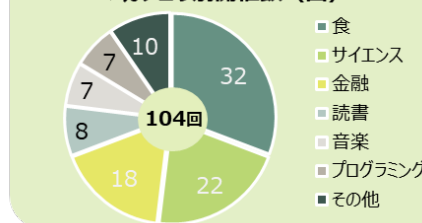
開催数

104回

連携数

43団体

▼カテゴリ別開催数（回）



▼連携団体数（団体）



アトリエ・バンライ-TOYONAKA-（27年4月開設予定）



アトリエ・バンライ
TOYONAKA



■ 7. 挑戦者を支援し、つなげ、社会的価値を共に創出する「トラステッド・パートナー」へ

- 日本の若者は、他国比自己肯定感が低く、挑戦マインドを持つ人材が少ない。こうした状況が、幸せな成長や輝く人々といったマテリアリティの実現を阻む懸念がある
- SMBCグループは、未来を切り拓く挑戦者を支援し、社会的価値を共に創出する「トラステッド・パートナー」を目指し、好奇心を掻き立て、挑戦の幅を広げ、つながるための一連の仕組みを提供



**未来を切り拓く挑戦者を支援し、
つなげる「トラステッド・パートナー」へ**

